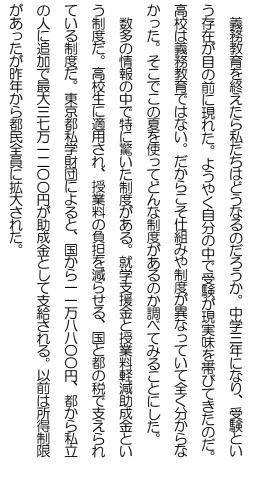
## 大森地区優秀作文



## 税が広げる未来の可能性

大田区立馬込中学校 三年 福島 景子



ろうか。ここで疑問に思ったことがある。これらの制度はどのくらい助けてくれるのだ

親も子も助けているのだ。用を抑えることができ、借金を背負つ可能性が低くなる。つまりこれらの制度は借金を背負ったりする可能性が高まる。一方で、これらの制度があれば確実に費もし支援なしで私立高校に入学した場合、親の老後の費用が減ったり、自分が

一見、この恩恵を受けるのはこどもだけのように思える。しかしこれは大人に

で、税金への知識を深めた上で「納める」ことができる、そんな人間に私はなりの復旧作業にも、もちろん私たちの学校生活にも、全て税金が使われている。こんなにも国民を守っている税金にマイナスなイメージがついてしまうのは、きっんなにも国民を守っている税金にマイナスなイメージがついてしまうのは、きっと何も知らずに税金を「支払っている」からだと思う。しっかりと使途を理解して、税金への知識を深めた上で「納める」ことができる、そんな人間に私はなりたい。

せになれる世界を税金と共に創っていきたい。よう、国民全員できちんと納めていくべきだと思う。そして、より多くの人が幸また、税金という素晴らしい制度が日本の安心で安全な未来を保ち続けられる